

- 1 我が国の保健統計について正しいのはどれか。
- a 0歳児では先天異常による死亡が最も多い。
 - b 20歳代では不慮の事故による死亡が最も多い。
 - c 90歳以上では悪性新生物による死亡が最も多い。
 - d 悪性新生物による死亡数は人口の約15%を占める。
 - e 平成7年の死亡診断書の記載方法の改正に伴い肺炎の死亡率が増加した。

- 2 わが国の結核の現状について正しいのはどれか。
- a 有病率は若い年齢層で高い。
 - b 新登録患者は男性が女性を上回っている。
 - c 小学校1年生の全員にツベルクリン反応検査を行う。
 - d 結核を診断した医師は7日以内に保健所長に届け出る。
 - e 生後6か月に達するまでに行うBCG接種は廃止された。

- 3 新生児に用いられる用語について正しい組合せはどれか。
- a 巨大児———出生体重 3,500 g 以上の児
 - b 正期産児———在胎 37 週以上 40 週未満の児
 - c 早期新生児期———生後 2 週間以内
 - d 超低出生体重児———出生体重 1,000 g 未満の児
 - e AFD (appropriate-for-dates) 児 ———出生体重が5 パーセントイル以上 95 パーセントイル未満の児

- 4 正しいのはどれか。
- a 国際赤十字は政府機関である。
 - b 国際協力機構 (JICA) では、日本と他国の技術協力を行う。
 - c 国連児童基金 (UNICEF) は食糧支援が主な業務である。
 - d 政府開発援助 (ODA) は非政府援助に比較して規模が小さい。
 - e 国連教育科学文化機関 (UNESCO) は児童の福祉、健康、改善を行う。

- 5 介入研究に関して正しいのはどれか。
- a 治験は介入研究ではない。
 - b 介入群と対照群との標本数を同じにする。
 - c 無作為比較対照試験には二重盲検化が必須である。
 - d 介入群と対照群との標本数は研究開始後に決定する。
 - e 乱数表を用いて被験者を介入群と対照群とに分ける。

- 6 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術直後にみられたⅡ型エンドリークに対する処置で正しいのはどれか。

- a 開腹後動脈結紮術
- b 画像診断による経過観察
- c カテーテルのコイル塞栓術
- d ステントグラフトの追加留置術
- e バルーン拡張型ステントにより近位頸部と遠位頸部の圧着

- 7 10か月の乳児で正常なのはどれか。
- a Moro 反射がみられる。
 - b 手掌把握反射がみられる。
 - c Landau 反射がみられない。
 - d パラシュート反射がみられない。
 - e 非対称性緊張性頸反射がみられない。

- 8 産褥経過で正しいのはどれか。
- a 赤色悪露は4~6週間持続する。
 - b 初回月経まで妊娠することはない。
 - c 初乳には分泌型IgAが多く含まれる。
 - d 5日目の子宮底高は恥骨上縁に触れる。
 - e プロラクチンの基礎分泌量は増加する。

- 9 急変した入院患者に対する複数科のチーム医療で適切でないのはどれか。
- a 医療情報の共有。
 - b 看護師もチームに含める。
 - c 医師を頂点にした指示内容の確立。
 - d 速やかにチームリーダーを決める。
 - e 口頭指示の内容を把握し記録する担当を決める。

- 10 開発途上国の保健医療について正しいのはどれか。
- a ポリオは根絶された。
 - b 乳児の下痢には母乳の継続が有効である。
 - c マラリアの予防には蚊帳は有効ではない。
 - d 成人HIV感染率は東南アジアが最も高い。
 - e 肺炎は5歳未満児の3大死因に含まれていない。

11 急性腹症の診断に有用でないのはどれか。

- a 血液検査
- b 腹部CT検査
- c 腹部超音波検査
- d 下部消化管内視鏡検査
- e 腹部単純エックス線検査

12 肺循環について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 血管抵抗は体循環より高い。
- b 血圧は体循環とほぼ同じである。
- c 肺循環血管壁は体循環動脈壁に比べて薄い。
- d 肺循環血液量は総循環血液量の50%を占める。
- e 肺循環血流量が増えても肺動脈圧の上昇は少ない。

13 感覚解離を来す部位はどれか。2つ選べ。

- a 頭頂葉
- b 視床
- c 延髄
- d 脊髄
- e 橋

14 呼気終末陽圧換気(PEEP)について正しいのはどれか。

- a 静脈還流を増加させる。
- b 腎血流量を増加させる。
- c 頭蓋内圧を低下させる。
- d 肺内シャントを減少させる。
- e 機能的残気量を低下させる。

15 ヘルニアとヘルニア門の組合せで誤っているのはどれか。

- a 臍ヘルニア——— 臍部
- b 大腿ヘルニア——— 大腿輪
- c 閉鎖孔ヘルニア——— 閉鎖孔
- d 外ソケイヘルニア——— 内ソケイ輪
- e 内ソケイヘルニア——— 外側ソケイ窩

16 3歳以降に初回接種を推奨している予防接種はどれか。

- a 結核
- b 肺炎球菌
- c 日本脳炎
- d ロタウイルス
- e 3種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)

17 妊娠の成立・維持について正しいのはどれか。

- a 妊娠は受精当日に成立する。
- b 着床は受精後2日目に起こる。
- c 妊娠5週の妊娠維持は妊娠黄体が必要である。
- d 22週0日の分娩は流産である。
- e 妊娠40週1日の分娩は過期産である。

18 わが国の医療保険制度について誤っているのはどれか。

- a 保険料は所得によって額が異なる。
- b 被用者保険は健康保険法の規定による。
- c 医療給付は原則として現物給付をとっている。
- d 小学校入学前の被扶養者の自己負担率は2割である。
- e 一定以上の所得者を除く75歳以上の自己負担率は2割である。

19 保健所が行っている事業はどれか。3つ選べ。

- a 人口動態統計に関する事項
- b 母子保健手帳の交付
- c 歯科保健に関する事項
- d 精神保健に関する事項
- e がん検診に関する事項

20 上口唇部挫創処置の麻酔について適切なのはどれか。

- a 下顎孔伝達麻酔
- b クーレンカンパ法
- c 眼窩上神経ブロック
- d 眼窩下神経ブロック
- e オトガイ神経ブロック

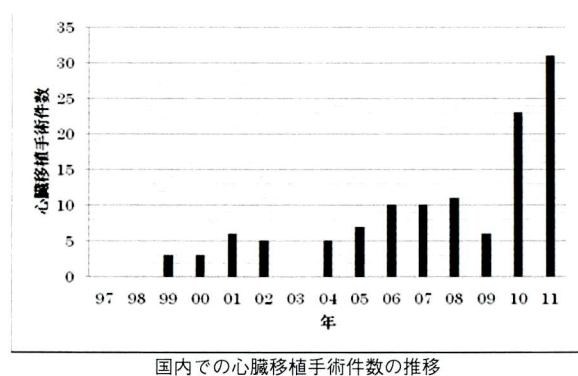
21 圧挫症候群の受傷後3時間で搬入された患者の尿所見として可能性が最も高いのはどれか。

- a ヘモグロビン尿
- b ミオグロビン尿
- c 細菌尿
- d 乳び尿
- e 血尿

22 放射線障害のうち急性障害はどれか。

- a 白内障
- b 白血病
- c 骨髄抑制
- d 甲状腺癌
- e 遺伝的影響

23 国内での心臓移植手術件数の推移を示す。



2010年7月の臓器移植法改正で変更された点として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 透析患者にも心臓移植が行われるようになった。
- b 15歳未満の脳死患者からも臓器提供が可能になった。
- c 心臓移植のレシピエント適応年齢が65歳以下となった。
- d 虐待の可能性のあるドナーからも臓器提供が可能になった。
- e 脳死患者本人の意思が不明でも家族の承諾があれば臓器提供できるようになった。

24 全身の大量放射線被ばくによって、末梢血で最も早く減少するのはどれか。

- a 血小板
- b 好酸球
- c 好中球
- d 赤血球
- e リンパ球

25 REM睡眠の脳波検査の所見でみられるのはどれか。

- a 瘤波
- b 紡錘波
- c 低振幅波
- d κ 複合波
- e 棘徐波結合

26 皮膚および付属器について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 立毛筋は毛隆起部に付着する。
- b メラニンは顆粒層で合成される。
- c 皮脂腺は表皮には直接開口しない。
- d 表皮は有棘層と基底層の2層構造である。
- e 毛周期は成長期、退行期、休止期の3つに分けられる。

27 次のうち耳痛をきたすものはどれか。

- a 耳硬化症
- b 突発性難聴
- c 聴神経腫瘍
- d 滲出性中耳炎
- e Ramsay Hunt症候群

28 前立腺の直腸診で正常な所見として正しいのはどれか。

- a 表面が不整。
- b 石様に硬い。
- c 圧痛がある。
- d 大きさが鶏卵大。
- e 中央溝が触れる。

29 ERGで律動様小波が減弱する眼疾患はどれか。

- a 流行性角結膜炎
- b 乾性角結膜炎
- c 角膜ヘルペス
- d 加齢白内障
- e 糖尿病網膜症

30 機能的分類として多軸関節はどれか。2つ選べ。

- a 腕尺関節
- b 肩関節
- c 環椎後頭関節
- d 膝関節
- e 股関節

31 胸腺について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a T細胞の成熟に必須である。
- b 心臓の背側上部に存在する。
- c 髄質からアドレナリンを分泌する。
- d 壮年期まで増大し、以降加齢と共に萎縮する。
- e 自己成分に強く反応してしまうT細胞は排除される。

32 ミトコンドリア内で行われるのはどれか。

- a 解糖
- b 脂肪酸酸化
- c 脂肪酸合成
- d ペントース産生
- e コレステロール合成

33 40,000人に1人の割合で発症するX染色体劣性遺伝性疾患がある。集団が均質であるとき、この疾患における女性の保因者頻度はどれか。

- a 100人に1人
- b 400人に1人
- c 1,000人に1人
- d 20,000人に1人
- e 40,000人に1人

34 人工培地で発育しないのはどれか。2つ選べ。

- a らい菌
- b 結核菌
- c 梅毒トレポネーマ
- d ライム病ボレリア
- e 肺炎マイコプラズマ

35 薬物過敏症について正しいのはどれか。

- a 重症化しない。
- b 用量に依存する。
- c 適正な用法でも発症する。
- d 長期投与後に発生頻度が高い。
- e まれに発生する有害反応である。

36 死後経過時間推定に通常用いないのはどれか。2つ選べ。

- a 直腸温
- b 瞳孔径
- c 死体硬直
- d 角膜混濁
- e 死斑の色

37 光化学オキシダントについて正しいのはどれか。

- a 紫外線のエネルギーによって生成する。
- b 現在では注意報の発令はほとんどない。
- c オゾンは光化学オキシダントに含まれない。
- d 硫黄酸化物は光化学オキシダントを生成する一次性物質である。
- e 塩化飽和脂肪酸炭化水素は光化学オキシダントの生成を阻害する物質である。

38 病理検査に際して、針生検により組織を採取するのはどれか。

- a 舌腫瘍
- b 鼻腔腫瘍
- c 乳腺腫瘍
- d 大腸腫瘍
- e 膀胱腫瘍

39 わが国の30歳代の健康な男性の一日の適正なカルシウム摂取基準はどれか。

- a 50 mg
- b 100 mg
- c 300 mg
- d 700 mg
- e 1,200 mg

40 生後3時間の新生児。在胎27週、体重1,120 gで出生した。Apgarスコア7点(1分值)、8点(5分值)。多呼吸とチアノーゼを認める。

この他に認められる可能性が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 呻 吟
- b 喘 鳴
- c 乾性咳嗽
- d 陥没呼吸
- e 吸気時間の延長

41 84歳の女性。両側の下肢痛を主訴に来院した。触診では両足は冷たく、後脛骨動脈と足背動脈の拍動は触知しなかった。下肢の写真を示す。

この皮膚の状態はどれか。

- a 溢 血
- b 充 血
- c 貧 血
- d 虚 血
- e うっ血



下肢の写真

42 在胎39週、出生体重2,800 g、正常分娩で出生した男児。Apgarスコア8点(1分)。生後3～4日後に、自発的な動きのなかで観察できる反射はどれか。

- a 背反射
- b 歩行反射
- c 足底把握反射
- d パラシュート反射
- e 非対称性緊張性頸反射

43 31歳の初産婦。妊娠39週4日。子宮収縮の増強を主訴に入院した。胎児心拍数陣痛図を示す。正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 遷延徐脈を認める。
- b 早発一過性徐脈を認める。
- c 遷延一過性徐脈を認める。
- d 心拍数基線は正常範囲内である。
- e 心拍数基線細変動は消失している。



胎児心拍数陣痛図

- 44 32歳の女性。数年前から食物が通過しづらく、食事の際に水分を多めにとっていた。最近、通過障害が増強したため来院した。食道造影写真を示す。

この疾患について正しいのはどれか。

- a 亜硝酸薬を用いる。
- b 食道癌は合併しない。
- c 胸痛はともなわない。
- d Nissenの噴門形成術を行う。
- e 内視鏡的ステント挿入が有効である。



食道造影写真

- 45 56歳の男性。高血圧のため循環器内科に通院中左片麻痺が出現したため、神経内科に入院した。入院時の頭部CT画像を示す。

入院翌日に肺炎を合併し、ベッド上臥床状態が2週間持続した。現在、呼吸状態は良好となったが、構音障害、左片麻痺および左感覚障害が残存し、車椅子に移乗するときは介助が必要な状態である。食事により時にむせることがある。入院前は専業主婦の妻（52歳）と会社員の息子（30歳）と同居しており、在宅加療を希望している。

本症例のリハビリテーションについて、正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 地域連携バスを用いた回復期リハビリテーション転院を検討する。
- b 介護保険サービスによるリハビリテーションの適応はない。
- c 経口摂取は禁止し、胃瘻を造設する。
- d 言語聴覚士による訓練は必要ない。
- e 嚥下造影検査を行い、評価を行う。



頭部CT画像

- 46 32歳の男性。幼少期から肥満を呈しており、健康診断でも肥満を指摘されていたが、いままでに医療機関を受診したことはない。仕事が多忙で外食することが多く、最近さらに体重が増加し、心配で受診した。身長160 cm、体重70 kg。脈拍56/分、整。血圧142/92 mmHg。検査で冠動脈疾患や変形性関節症は認めなかった。

指導内容として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 1日600 kcalの食事。
- b 1か月後に14 kgの減量。
- c 塩分摂取量は1日7g以下。
- d 蛋白質摂取量は1日50 g以下。
- e 1日300 kcalを目標とした運動。

47 53歳の男性。関節リウマチの治療として、生物製剤（TNF α 阻害薬）を使用している。2か月前から微熱、咳嗽と頭痛が続いていた。5日前から38℃の発熱と頭痛の増悪を自覚した。本日家族の呼びかけに反応がなく、家族とともに来院した。身体所見では、GCSでE2V3M4、項部硬直とKernig徴候をみとめる。聴診上、右胸部にラ音と聴取する。胸部CT検査では右上肺野に浸潤影を認め、髄液検査の結果、結核性髄膜炎と診断された。入院後、喀痰の抗酸菌検査を行うために、喀痰吸引を行うことになった。

感染防御の上で正しい対応はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤



①



②



③



④

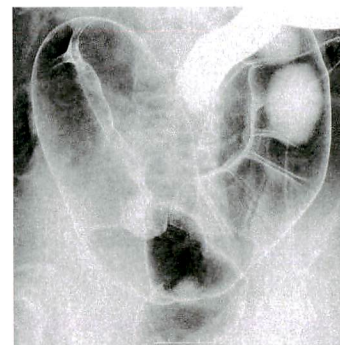


⑤

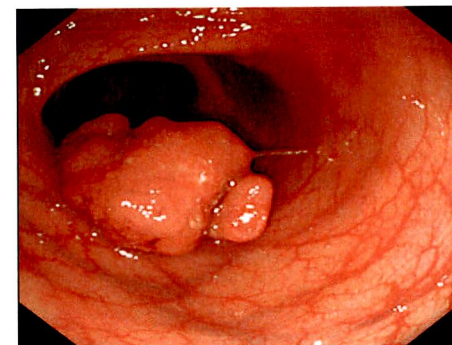
48 65歳の男性。既往歴なし。下血を主訴に来院した。数か月前より便に血液が混じるようになった。腹部は平坦、軟、腹部で圧痛なし。注腸造影写真、大腸内視鏡写真を示す。また胸腹部CTではS状結腸の壁肥厚以外明らかな異常所見は認めなかった。

適切な治療法はどれか。

- a 化学療法
- b 放射線療法
- c S状結腸切除
- d 人工肛門造設
- e 内視鏡的粘膜切除



注腸造影写真



大腸内視鏡写真

49 2歳6か月の男児。1歳0か月の時に熱性けいれんの既往がある。麻疹ワクチンの予防接種を希望している。体温は36.5℃で、発育・発達を含め診察所見に異常を認めない。

次のうち適切でないのはどれか。

- a 麻疹ワクチンの予防接種の効果は高い。
- b 熱性けいれんの既往があるので接種しない。
- c 麻疹ワクチンは2回接種が推奨される。
- d 副反応として発熱、発疹が出現するのは接種後10日前後である。
- e 2週前に3種混合ワクチン（DPT）を受けていても接種可能である。

50 30歳の初産婦。妊婦健康診査のために来院した。2週前に自宅近くの診療所を受診した際、最終月経から妊娠8週と診断された。超音波検査で子宮内に心拍を有する胎児を認めるが、妊娠週数に比して小さい。

対応として適切なのはどれか。

- a 自宅安静とする。
- b 妊娠週数を修正する。
- c 食事療法を指導する。
- d 羊水採取の必要性を説明する。
- e 子宮内胎児発育遅延の説明をする。

51 85歳の男性。自宅で多量のタール便をきたし、救急車で搬送され来院した。意識は不穏状態である。身長162 cm、体重60 kg、脈拍118/min、整、血圧85/42 mmHg、皮膚は蒼白で冷たい。血液所見：赤血球219万、Hb 6.1 g/dl、Ht 21 %、白血球5,600、血小板12.5万、PT 11.3秒（基準対照11.3）、APTT 32.3秒（基準対照32.2）、総蛋白6.7 g/dl、アルブミン3.9 g/dl。

この患者に適切な輸血はどれか。

- a 近親者からの新鮮血
- b 赤血球濃厚液
- c 新鮮凍結血漿
- d 濃厚血小板
- e 自己血

52 日齢8日の新生児顔面の写真（写真①、写真②）を示す。

移植を必要とする組織はどれか。

- a 皮膚
- b 脂肪
- c 軟骨
- d 骨
- e 毛



写真①



写真②

53 30歳の女性。

意識障害のために救命救急センターに搬送された。

現病歴：ここ1か月ほどは悩みごとが多く、家人とほとんど話をしなくなっていたが、家事はこなしていた。本日夕食後姿が見えずに捜したところ自室で倒れているのを娘が発見した。嘔吐痕もあり、そばには服用したと思われる空瓶があった。救急隊現着時、JCS 100、脈拍120/分、整。血圧140/100 mmHg、SpO₂ 97 %、瞳孔左右1.5 mm。救急車内でも1回嘔吐を認めた。

来院時現症：GCS9 (1-4-4)、体温34.1℃、脈拍100/分、整。血圧170/100 mmHg、SpO₂ 99 % (室内気吸入下)、瞳孔1.5 mm左右同大。発汗著明、口腔内分泌亢進と尿便失禁を認めた。胸腹部、四肢には明らかな異常はなかった。

原因として最も考えられる中毒物質はどれか。

- a 有機リン
- b カドミウム
- c バラコート
- d アンフェタミン
- e バルビツール酸

54 82歳の女性。8月に節電のため冷房をつけず就寝していた。翌朝家族がベッドで意識をなくしている患者を発見し、救急病院に搬送した。

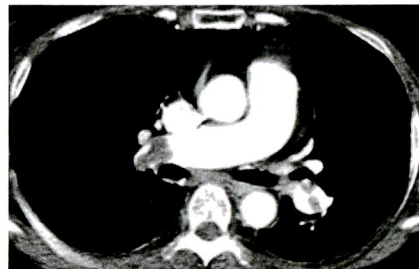
誤っているのはどれか。

- a 発汗低下
- b 体温 38.2℃
- c 脈拍 120 /分
- d ツルゴール亢進
- e 血圧 82/50 mmHg

55 55歳の女性。事務職員で、ホルモン補充療法を受けている。会社にて突然の呼吸困難を生じ、救急車にて来院した。胸部造影CTを示す。

初期治療法として適切でないのはどれか。

- a 血栓溶解薬の投与
- b IVC フィルターの留置
- c 経皮的心肺補助（PCPS）装着
- d 人工心肺下血栓摘除手術
- e カテーテルアブレーション



胸部造影CT

56 17歳の男子。複視を主訴に来院した。野球の試合中にボールが右眼に当たった。上方注視時に増強する複視と眼痛とを認める。

診断の確定に有用なのはどれか。

- a 頭部単純CT
- b 頭部単純MRI
- c 骨シンチグラフィ
- d オルファクトメトリ
- e 鼻腔ファイバースコープ

57 20歳の男性。家で食事もしなくなったため、両親に付き添われ来院した。詳しく病状を聴取したところ、大学の定期試験の勉強が忙しくなった2か月前より、自宅で勉強をしていると「お前は受からないよ」という声が聞こえる様になった。また、学校では誰かに見られている感じが気になり、電車に乗ることが出来なくなった。1か月前からは人目を避け自室にこもり、食事もせず睡眠もろくにっていない様子で、「こっちに来るな!」と叫んでいた。家族は入院加療を希望しているが、本人は入院については「必要ない」と答えている。

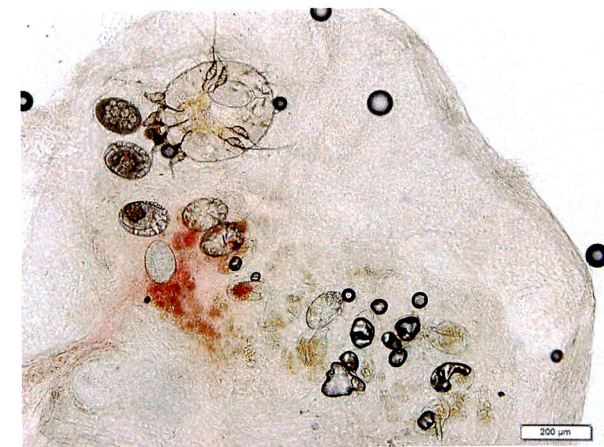
この患者の入院で正しいのはどれか。

- a 任意入院の適応になる。
- b 本人への入院の説明は必要ない。
- c 指定医2名の診察結果が一致しなければならない。
- d 両親のどちらかが保護者の選任を受けなければならない。
- e 本人の同意がなければ閉鎖病棟に入院させることはできない。

58 93歳の男性。デイサービスに週3回通っている。1か月前から体幹四肢に痒みの強い皮疹が出現した。近医でステロイド外用薬を処方されているが改善がない。手の指間に線状の角化を認め、同部位からの検査により写真のようなものが観察された。

実施した検査はどれか。

- a 硝子圧法
- b Tzanck試験
- c パーカーインク法
- d ダーモスコピー試験
- e 苛性カリ（KOH）直接検鏡法



写真

59 75歳の男性。主訴は尿が出なくなったこと。昨日より咽頭痛を自覚し、自宅近くの診療所で感冒薬を処方された。本日朝より尿細が途絶するとのこと。

身長 170 cm、体重 72 kg。体温 36.6℃。脈拍 64/分、整。血圧 130/75 mmHg。下腹部は膨隆し、直腸診で鶏卵大の前立腺を触知する。腹部超音波所見上、膀胱は多量の尿で拡張している。

現時点の対応として適切なのはどれか。

- a 導尿
- b 膀胱穿刺
- c 尿道ブジー
- d 膀胱機能検査
- e 利尿剤の投与

60 73歳の女性。複視を主訴に来院した。昨日、起床時に転倒し、左眼窩部を打撲した。その直後から複視がある。顔面写真を示す。

この疾患でみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 縮瞳
- b 眼球陥凹
- c 眼瞼下垂
- d 開口障害
- e 頬部感覚鈍麻



顔面写真

次の文を読み、61～63の問いに答えよ。

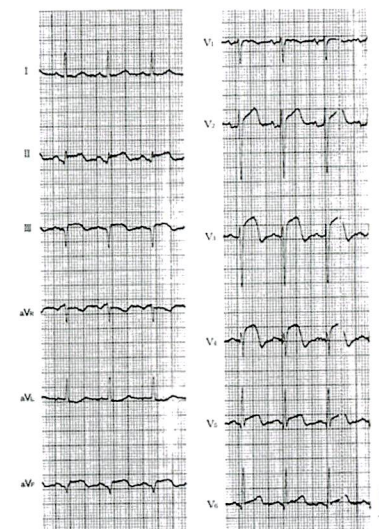
52歳の男性。前胸部痛が4時間持続するために救急車で搬入。

現病歴：1か月前から階段を上がった際に前胸部絞扼感を自覚していたが、休息すると直ぐに消失するので放置していた。本日、通勤中に駅の階段で前胸部絞扼感が生じ、しばらく我慢していたが次第に増強してきたため、救急隊を要請した。

既往歴：5年前から高血圧で降圧薬を服用している。

現症：意識は清明。身長 172 cm、体重 85 kg。体温 36.6℃。呼吸数 24/分。脈拍 104/分。血圧 170/96 mmHg。冷汗を伴い、四肢冷感あり。呼吸音異常なし。奔馬調律を聴取。腹部平坦、肝・脾触知せず。下腿浮腫なし。

検査所見：尿所見：蛋白(+)、糖1+。血液所見：赤血球 480 万、Hb 15.8 g/dl、Ht 46%、白血球 10,400、血小板 48 万。血液生化学所見：総蛋白 7.6 g/dl、クレアチニン 1.0 mg/dl、AST 86 IU/l、ALT 24 IU/l、CK 620 IU/l (基準 40~200)。経皮的動脈血酸素飽和度 $\text{SpO}_2 > 96\%$ 。来院時心電図①と来院後の心電図モニタを以下に示す。



心電図①



心電図モニタ

61 診断はどれか。

- a 心筋炎
- b 急性心膜炎
- c 大動脈解離
- d 不安定狭心症
- e 急性心筋梗塞

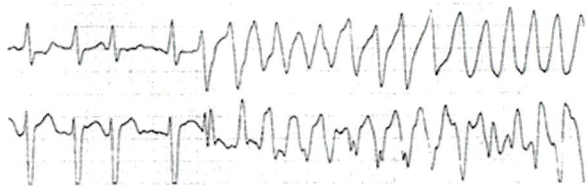
62 治療として適切でないのはどれか。

- a 酸素吸入
- b ヘパリン投与
- c リドカイン投与
- d アドレナリン投与
- e ニトログリセリン投与

63 来院 30 分後、突然意識を消失し、脈拍は触知不能となった。心電図②を示す。

直ちに行う処置はどれか。

- a IABP
- b 気管挿管
- c 電氣的除細動
- d 血栓溶解療法
- e 心臓ペースメーカー



心電図②

次の文を読み、64～66 の問いに答えよ。

39 歳の女性。月経が不順になったため受診した。

現病歴：以前から頭痛に悩んでいた。よく汗をかくようになり、いびきをかくことを家族に指摘されるようになった。月経は定期的に発来していたが、ここ半年は不順である。最近結婚指輪がきつくなったことを自覚している。

既往歴：生来健康。これまで特に異常を指摘されたことはない。

生活歴：喫煙歴なし。飲酒はビール 350 ml を週 2 回程度。

家族歴：父親が高血圧。

妊娠分娩歴：2 経妊 2 経産。妊娠分娩経過に異常なし。

現症：身長 162 cm、体重 61 kg。体温 36.7℃。脈拍 66 / 分、整。血圧 146/88 mmHg。皮膚は湿潤。

対座法で両耳側半盲を認める。乳汁分泌は認めない。

検査所見：尿所見：蛋白（－）、糖 1＋、潜血（－）。血液所見：白血球 5,600、赤血球 478 万、Hb 13.8 g/dl、Ht 42 %、血小板 27 万。血液生化学所見：TP 7.0 g/dl、アルブミン 4.2 g/dl、AST 16 IU/l、ALT 23 IU/l、LD 207 IU/l（基準 115～245）、空腹時血糖 104 mg/dl、HbA1c 6.0 %、UN 11 mg/dl、クレアチニン 0.69 mg/dl、総コレステロール 217 mg/dl、トリグリセリド 213 mg/dl、HDLコレステロール 41 mg/dl。内分泌検査所見：TSH 1.26 μ IU/ml（基準 0.50～5.00）、遊離 T₄ 1.37 ng/ml（基準 0.90～1.70）、GH 4.52 ng/ml（基準 0.28～1.64）、ソマトメジン C 681 ng/ml（年齢別基準 73～311）、プロラクチン 42.5 ng/ml（基準 4.91～29.32）。

64 この患者にみられる身体所見はどれか。2つ選べ。

- a 野牛肩
- b 巨大舌
- c 眼球突出
- d 眉弓部の膨大
- e 赤色皮膚線状

65 診断に有用な検査はどれか。

- a ブドウ糖負荷試験
- b 高張食塩水負荷試験
- c Ellsworth-Howard 試験
- d 立位フロセミド負荷試験
- e デキサメサゾン抑制試験

66 行うべき治療はどれか。

- a クロミフェン療法
- b インスリン療法
- c ステロイド療法
- d 抗癌化学療法
- e Hardy手術

次の文を読み、67～69の問いに答えよ。

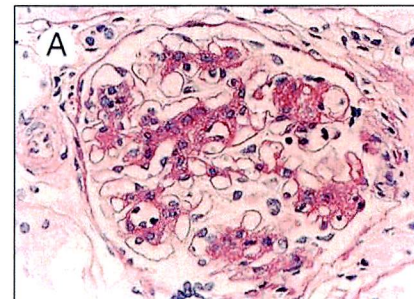
15歳の男子。春の学校検尿で血尿3+、蛋白尿3+を指摘され、近医を受診。血尿蛋白尿が続くため、夏休みに入って再び受診した。血圧120/75 mmHg。尿検査上、一日蛋白量は1.5 g、赤血球50～99/每視野であった。血清蛋白は正常。腎機能正常。低補体血症は認めなかった。既往歴に難聴あり。家族歴は特になし。

67 最初に行う検査として最も有用なのはどれか。

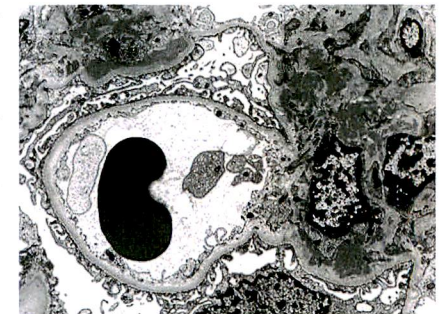
- a 尿中細胞診
- b 腹部造影CT
- c 腎臓超音波検査
- d 腎動脈血管造影
- e 利尿剤負荷レノシンチ

68 腎生検の病理写真を示す。所見として正しいのはどれか。

- a 半月体を認める。
- b 基底膜の断裂を認める。
- c 形質細胞の浸潤を認める。
- d 上皮細胞の癒合を認める。
- e メサングウム領域に沈着物を認める。



腎生検の病理写真



腎生検の病理写真

69 この疾患で正しいのはどれか。

- a WT1 遺伝子異常である。
- b 伴性劣性遺伝の遺伝形式が最も多い。
- c 遺伝形式は今のところ明確ではない。
- d 常染色体優性遺伝の遺伝形式が最も多い。
- e 常染色体劣性遺伝の遺伝形式が最も多い。